

患者様各位

くも膜下出血後のリハビリテーションに関する研究についてのお知らせ

研究の背景

くも膜下出血は主に脳動脈瘤の破裂が原因で、重篤になると命や重度の後遺症が残る可能性がある疾患です。そのため、手術後は厳重に全身状態を管理する必要があり、リハビリテーションの開始時期や進め方については各施設によって差があるのが現状です。くも膜下出血患者の予後やリハビリテーションに関する報告は少なく、多施設で研究された報告はありません。

研究の目的

この研究は、国内 5 施設で行う多施設共同研究へ参加しそのデータベースを利用した研究です。Stress index という生化学データから算出される値がくも膜下出血患者の予後やリハビリテーション経過、合併症などにどのような影響をもたらすかを明らかにし、予後予測や適切なリハビリテーションの提供に役立てることが目的です。

利用する者（被検者）の範囲と研究期間

対象者：初発の脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の手術を受け、理学療法(作業療法・言語聴覚療法も含む)が処方された患者様

対象期間：2014年4月1日～ 2019年3月31日

研究に際し行うこと

研究のための特別な検査・投薬・治療等はありません。通常の診察および治療を継続し、その際の診察情報やリハビリテーションに関する情報を収集し、匿名化された情報を多施設共同研究のデータベースへ登録します。

研究に伴う患者様の負担・不利益

通常の診療を行うだけなので、研究のための患者様の金銭的負担は一切ありません。また研究のための検査や投薬は一切行いません。研究を行うことで生ずる副作用等の増加はありません。

患者様の人権擁護

患者様およびそのデータは、個人が判別出来ないよう処理します。本研究にて使用したデータについては本研究以外で利用することはありません。また、データベースへの登録および本研究への使用にご了承頂けない場合は下記にお申し出ください。

御不明な点は、主治医または下記までお尋ねください。

皆様の御協力に感謝致します。

連絡先

社会医療法人友愛会 友愛医療センター

リハビリテーション科 宮里 将平

電話：(代表)098-850-3811

内線:1750 (リハビリテーション科 受付)